

マイクロフォン

「新青年」一九二八年二月

国枝史郎

青空文庫

小酒井不木氏の「見得ぬ顔」は単なる探偵小説のための探偵小説で無い処ところが私には嬉しいと思われました。法律に対する完解、人間の好悪感に就ついての意見、わけでも最後の庄司弁護士の心持などには鋭い深い氏の物の見方が窺われました。従来やや自己韜晦の気味に居られた氏が、それに満足されずに次第に本質を現わして行かれようとして居ります。

青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社

2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「新青年」

1928（昭和3）年2月

初出：「新青年」

1928（昭和3）年2月

入力：門田裕志

校正：Juki

2014年4月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

マイクロフォン

「新青年」一九二八年二月

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫
著者 国枝史郎
URL <http://www.aozora.gr.jp/>
E-Mail info@aozora.gr.jp
作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU
URL <http://aozora.xisang.top/>
BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>